

桐 生 商 工 会 議 所 管 内
景 況 調 査 報 告 書

第 149 回

(2 0 2 5 年 4 ～ 6 月 期)

令和 7 年 8 月

桐 生 商 工 会 議 所
桐生中小企業相談所

調 査 要 領

1. 調査目的 本調査は、当所管内事業所の経済動向及び現状を把握し、情報化社会に対応した企業経営の指針とするとともに、今後の経営支援の参考に資することを目的とする。

2. 調査時点 2025年6月1日

3. 調査期間 2025年4～6月期

4. 調査対象企業数 373 企業（うち回答企業数 136 企業）

5. 調査対象業種

①建設業（回答企業数 25 企業）

建築・大工業、土木業、管工事業、とび・コンクリート業、鉄骨・鉄筋業、電気工事業、左官・屋根業、塗装業、板金業、その他

②商業・サービス業（回答企業数 57 企業）

卸売業、小売業、飲食業、サービス業

③製造業

機械金属関連業（回答企業数 26 企業）

鉄鋼業、金属製品製造業、一般機械器具製造業、電気機械器具製造業、輸送用機械器具製造業、精密機械器具製造業、プラスチック製造業、その他

繊維工業（回答企業数 28 企業）

撚糸業、織物業、染色整理業、ニット・メリヤス業、レース業、縫製業、刺繍業、その他

DI とは、ディフュージョン・インデックス（D i f f u s i o n I n d e x）の略で、このDI の変化を分析することにより経済動向の判断を行います。
このDI は、好転企業の割合から悪化企業の割合を差引き算出し、好転が悪化を上回る場合プラス（+）となり、逆に悪化が好転を上回る場合マイナス（-）となります。DI については数値の水準のみならず、数値の変化がどういう方向を向いているかが重要です。

1. 景況の動き

【業況DI】

今期の業況DIは、全体で－22。前期（－26）比は＋4ポイントとなった。また前年同期（－18）比では－4ポイントとなった。

業種別では、**建設業－21**（前期比0、前年同期比－4）、**商業・サービス業－33**（前期比－5、前年同期比－15）、**機械金属製造業－19**（前期比－6、前年同期比＋11）、**繊維製造業－4**（前期比＋36、前年同期比＋3）となっている。

【採算DI】

今期の採算DIは全体で－28。前期（－33）比は＋5ポイント、前年同期（－24）では－4ポイントとなった。

業種別では、**建設業－38**（前期比－6、前年同期比－10）、**商業・サービス業－38**（前期比－9、前年同期比－8）、**機械金属製造業－23**（前期比－2、前年同期比－5）、**繊維製造業－4**（前期比＋44、前年同期比－14）となっている。

【来期業況DI】

来期の業況予測DIは全体で－22。前期（－27）比では＋5ポイント、前年同期（－14）比では－8ポイントとなった。

業種別では**建設業－23**（前期比＋8、前年同期比－12）、**商業・サービス業－27**（前期比＋10、前年同期比－9）、**機械金属製造業－28**（前期比－23、前年同期比－14）、**繊維製造業－5**（前期比＋14、前年同期比＋3）となっている。

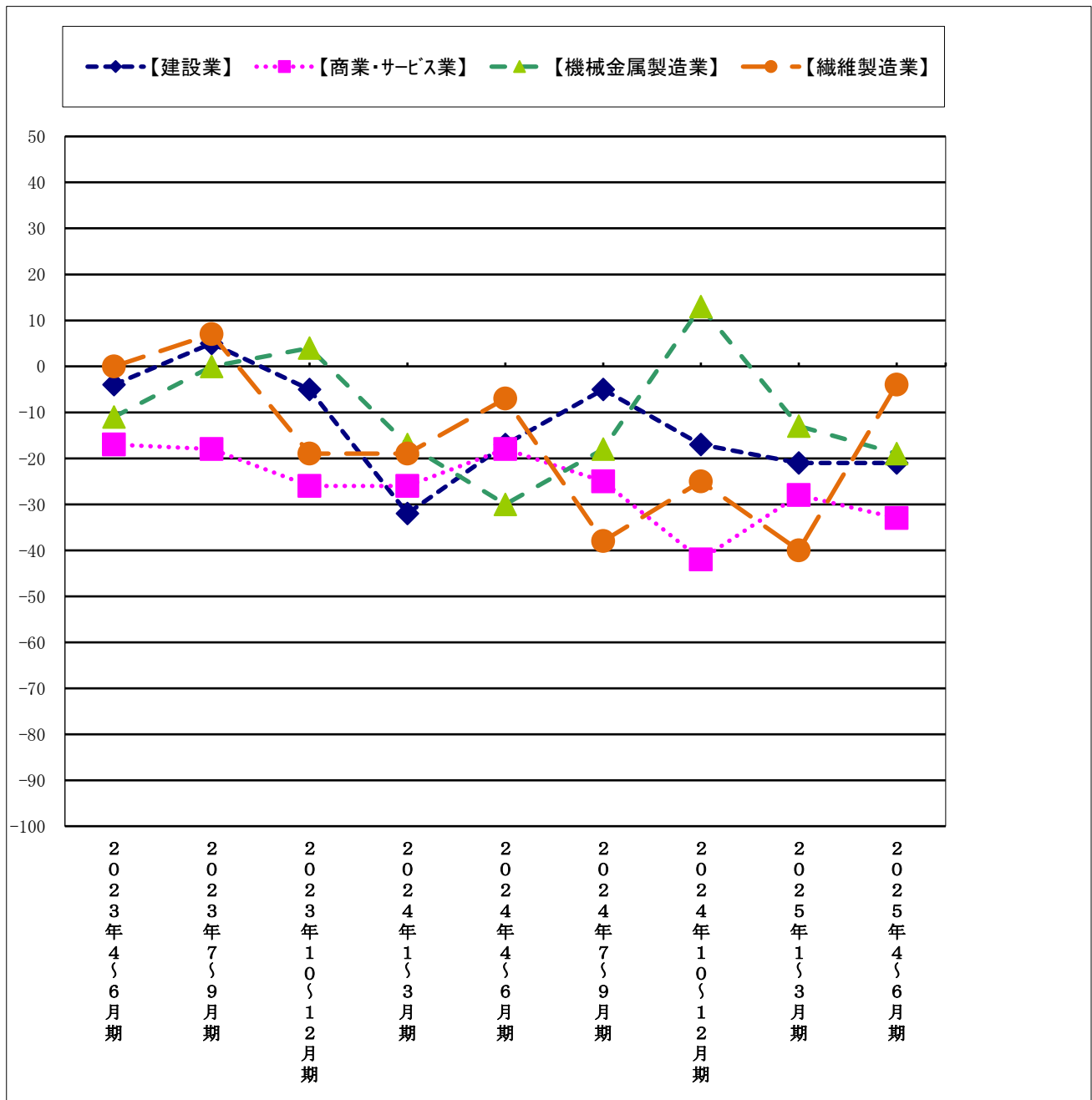
【経営上の問題点】

経営上の問題点としては、**建設業**では「民間需要の停滞」（16.2%）「材料価格の上昇」（14.7%）、**商業・サービス業**では「材料等仕入単価の上昇」（16.3%）「人件費の増加」（13.6%）、**機械金属製造業**では「従業員の確保難」（17.3%）「需要の停滞」（13.3%）、**繊維製造業**では「需要の停滞」（16.0%）「生産設備の不足・老朽化」（12.0%）が上位となっている。

業況DIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年4～6月期	-4	-17	-11	0
2023年7～9月期	5	-18	0	7
2023年10～12月期	-5	-26	4	-19
2024年1～3月期	-32	-26	-17	-19
2024年4～6月期	-17	-18	-30	-7
2024年7～9月期	-5	-25	-18	-38
2024年10～12月期	-17	-42	13	-25
2025年1～3月期	-21	-28	-13	-40
2025年4～6月期	-21	-33	-19	-4

[2023年4～6月期] から [2025年4～6月期]



2. 業種別の今期の業況・来期の業況予測

【建設業】

●今期業況

今期の業況DIは－21。前期比は±0、前年同期比では－4ポイントとなった。

業種別では**建築・大工業〔－29〕、土木業〔－33〕、管工事業〔±0〕、鉄骨・鉄筋業〔±0〕、電気工事業〔－20〕、左官・屋根業〔+100〕、その他〔－33〕**ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－23。前期比＋8、前年同期比では－12ポイントとなっている。

【商業・サービス業】

●今期業況

今期の業況DIは－33。前期比は－5、前年同期比では－15ポイントとなった。

業種別では、**卸売業〔±0〕、小売業〔－48〕、飲食業〔－0〕、サービス業では〔－32〕**ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－27。前期比＋10、前年同期比では－9ポイントとなっている。

【機械金属製造業】

●今期業況

今期の業況DIは－19。前期比では－6、前年同期比では＋11ポイントとなった。

業種別では、**鉄鋼業〔－33〕、非鉄金属業〔±0〕、金属製品業〔±0〕、一般機械器具業〔±0〕、電気機械器具業〔－100〕、輸送用機械器具業〔－20〕、精密機械器具業〔±0〕、プラスチック製造業〔±0〕、その他〔－100〕**ポイントとなった。

●来期業況

来期業況予測のDIは－28。前期比－23、前年同期比－14ポイントとなっている。

【繊維製造業】

●今期業況

今期の業況DIは－4。前期比では＋36、前年同期比では＋3ポイントとなった。

業種別では、**燃糸業〔±0〕、織物業〔－18〕、染色整理業〔－33〕、ニット・メリヤス業〔－50〕、レース業〔±0〕、縫製業〔±0〕、刺繍業〔+43〕、その他〔±0〕**ポイントとなった。

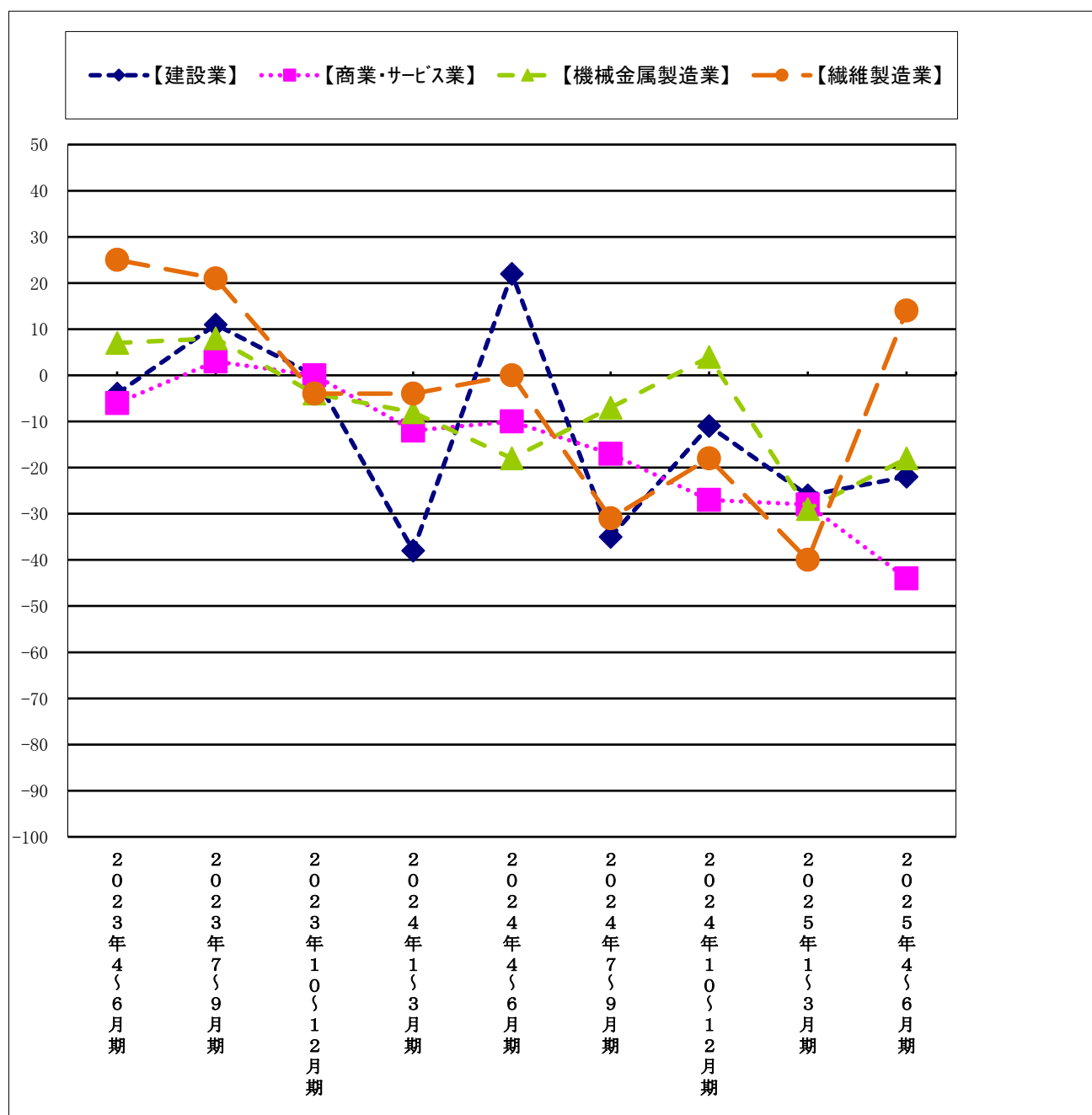
●来期業況

来期業況予測のDIは－5。前期比＋14、前年同期比では＋3ポイントとなっている。

売上額（完成工事額）DIの推移

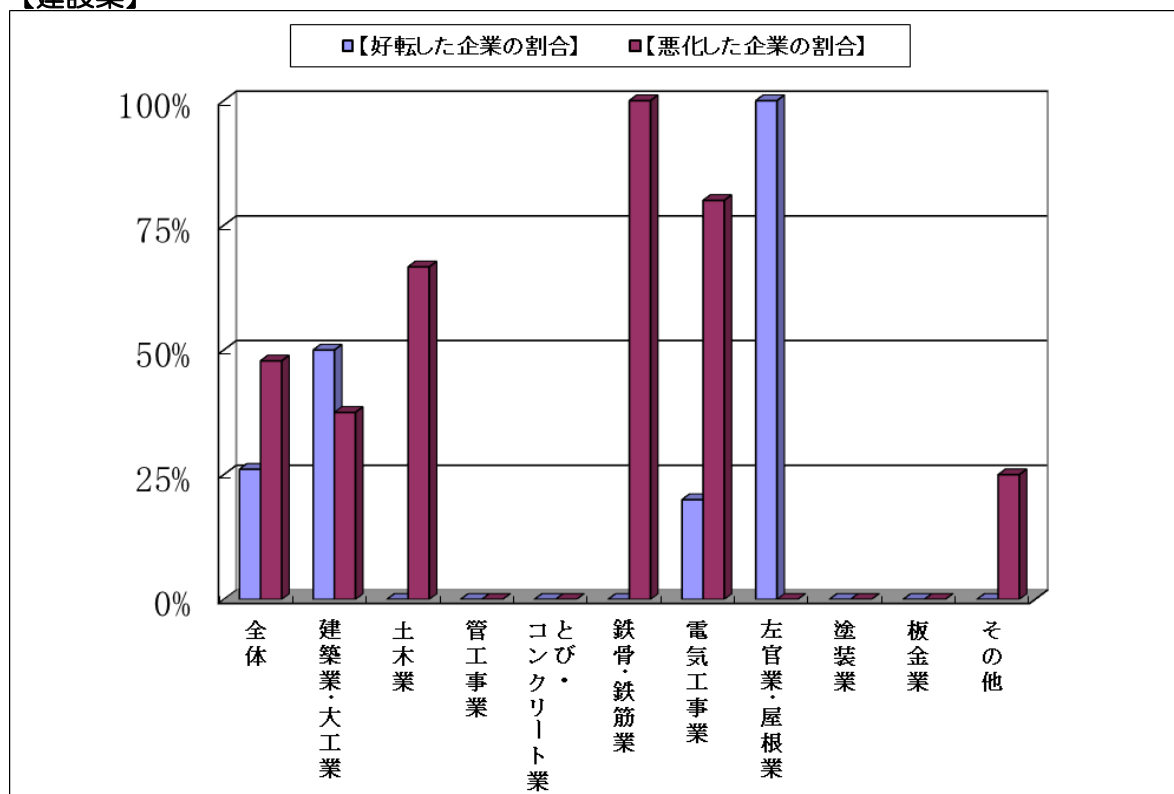
	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年4～6月期	-4	-6	7	25
2023年7～9月期	11	3	8	21
2023年10～12月期	0	0	-4	-4
2024年1～3月期	-38	-12	-8	-4
2024年4～6月期	22	-10	-18	0
2024年7～9月期	-35	-17	-7	-31
2024年10～12月期	-11	-27	4	-18
2025年1～3月期	-26	-28	-29	-40
2025年4～6月期	-22	-44	-18	14

〔2023年4～6月期〕から〔2025年4～6月期〕

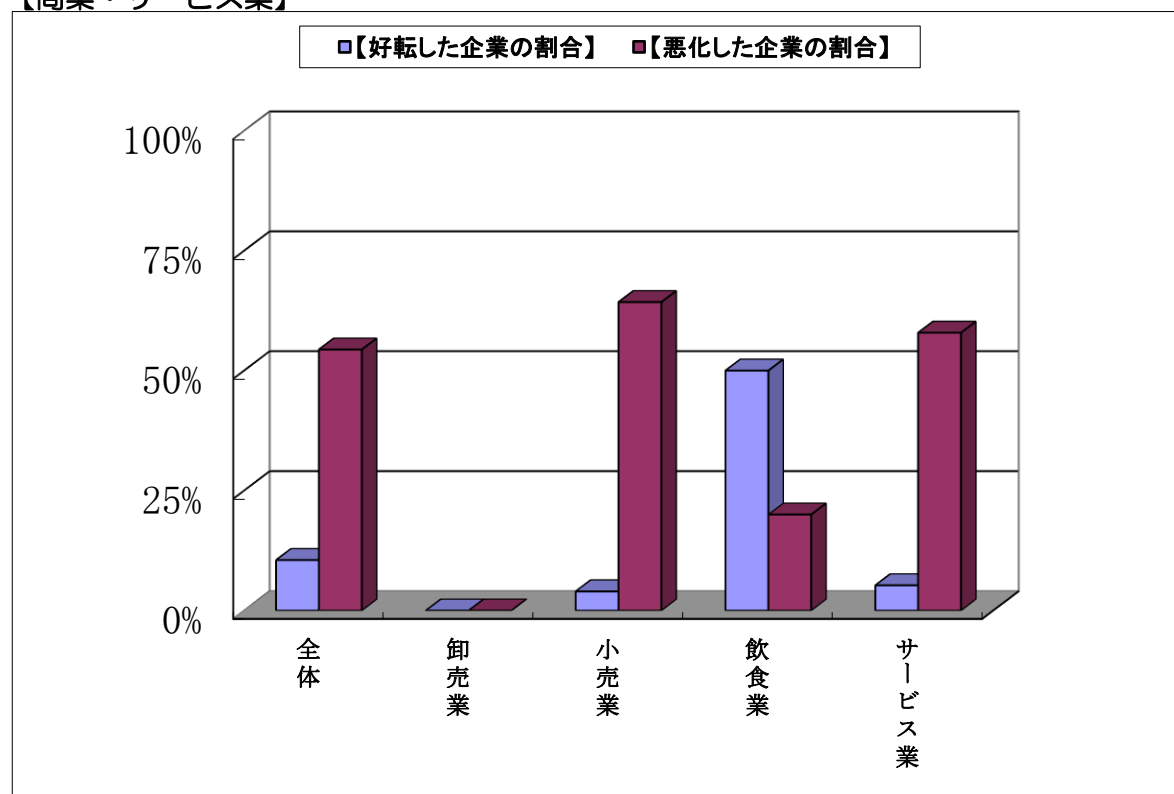


業種別売上額（完成工事額）の状況〈前年同期比〉

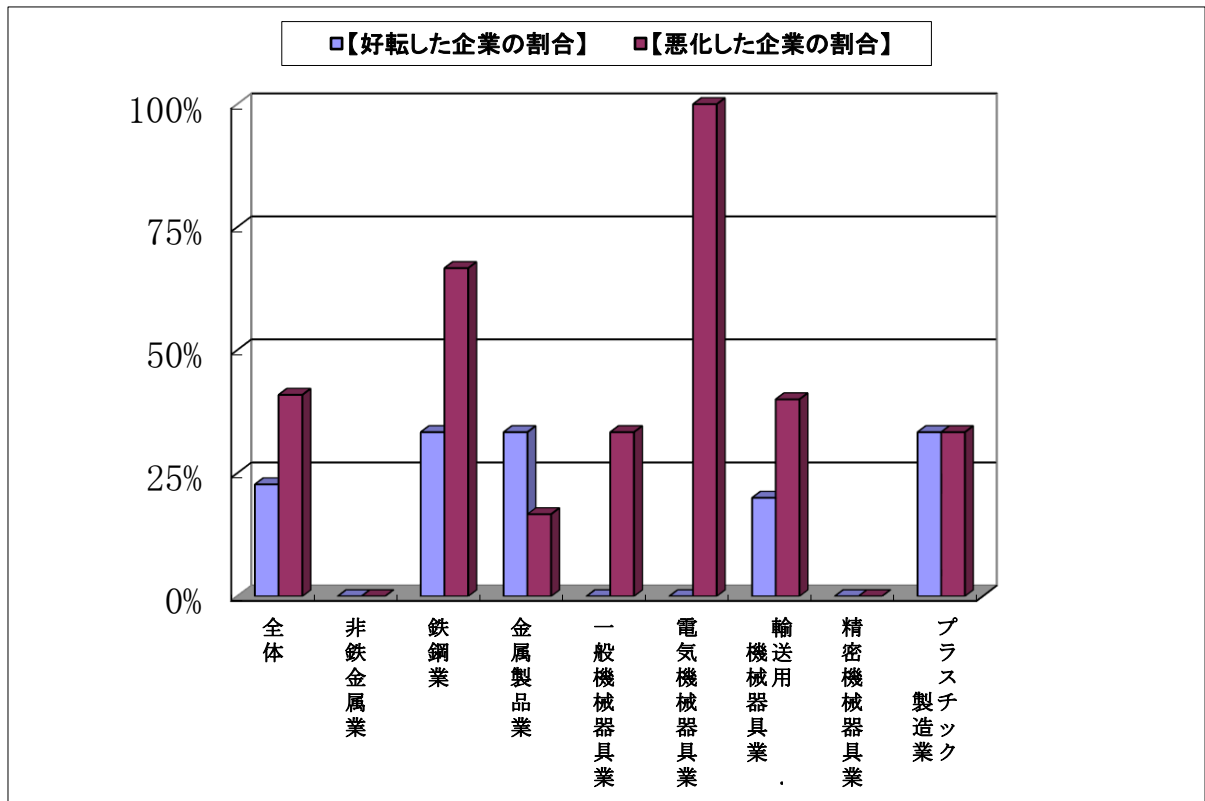
【建設業】



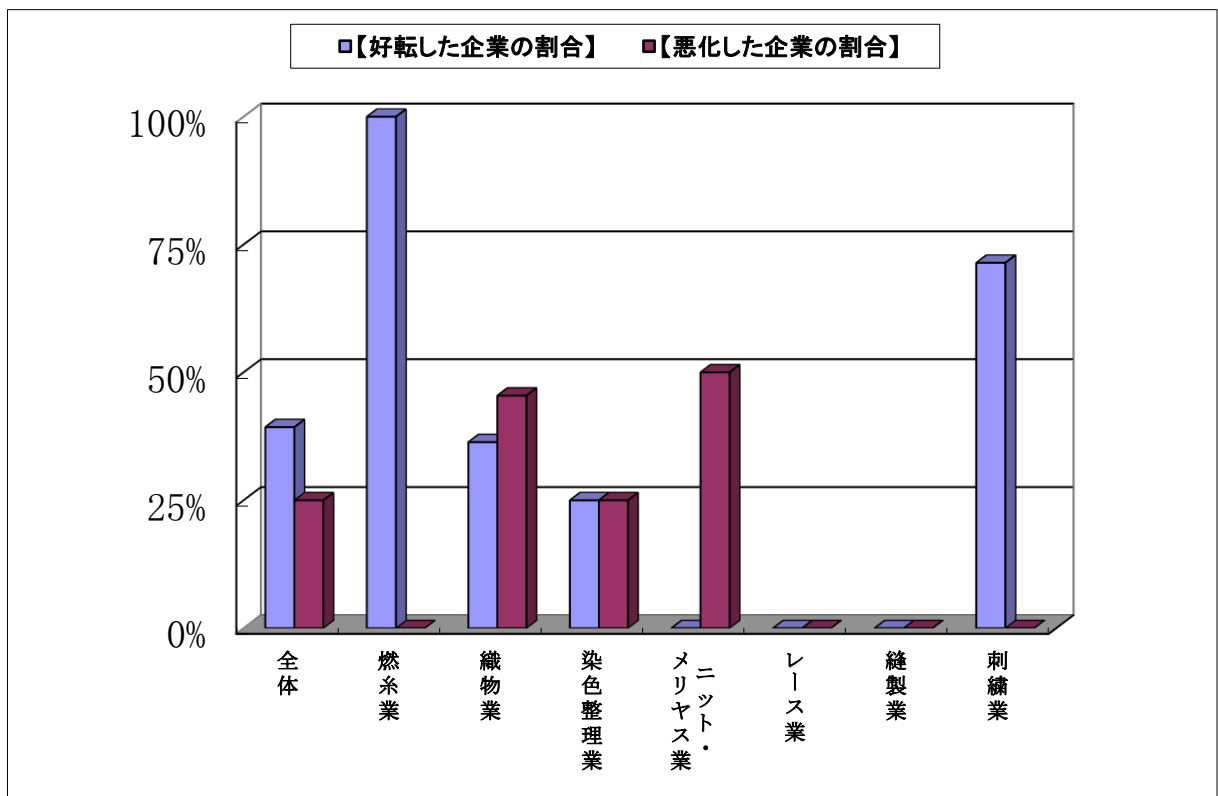
【商業・サービス業】



【機械金属製造業】



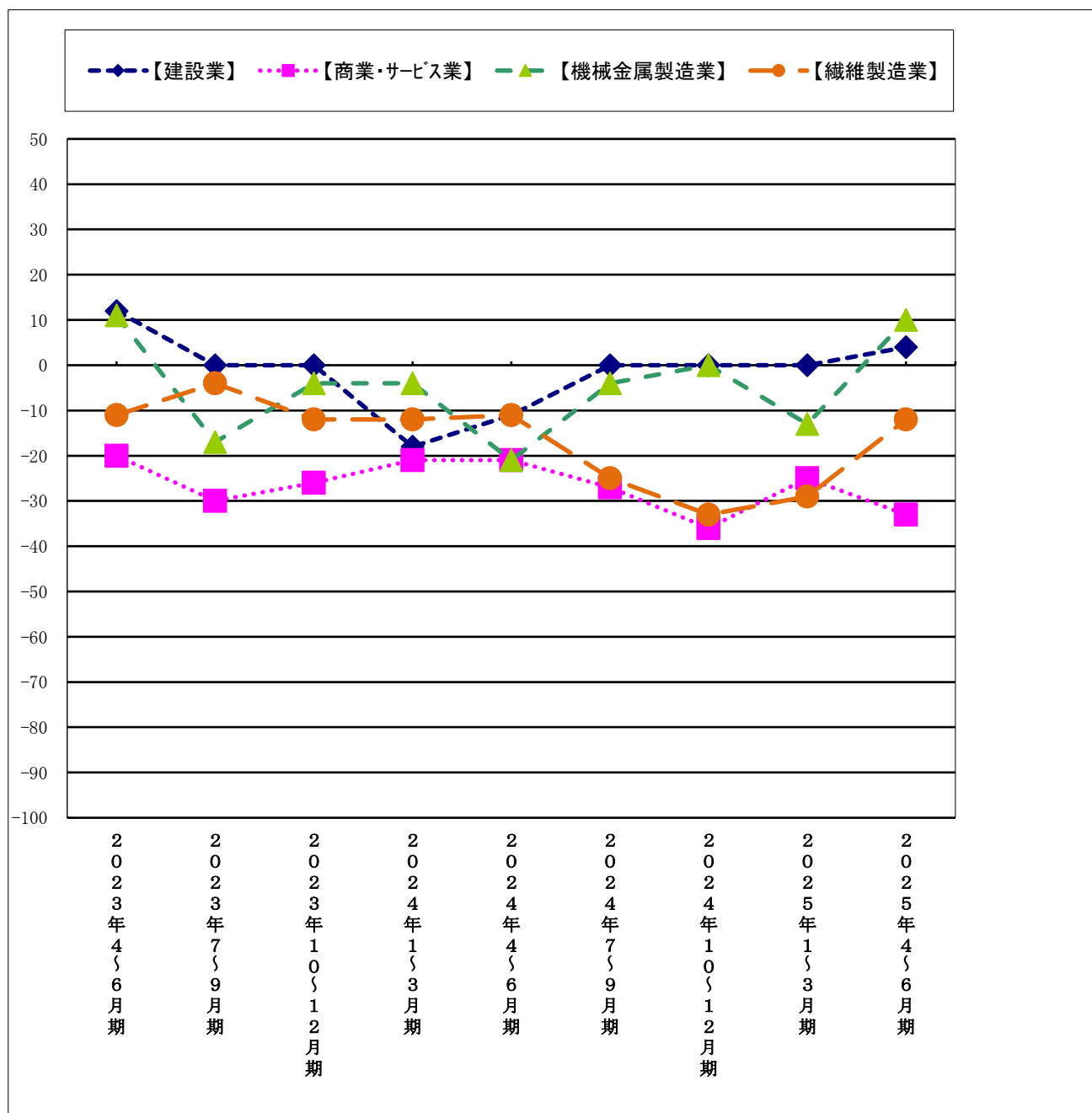
【繊維製造業】



資金繰りDIの推移

	【建設業】	【商業・サービス業】	【機械金属製造業】	【繊維製造業】
2023年4～6月期	12	-20	11	-11
2023年7～9月期	0	-30	-17	-4
2023年10～12月期	0	-26	-4	-12
2024年1～3月期	-18	-21	-4	-12
2024年4～6月期	-11	-21	-21	-11
2024年7～9月期	0	-27	-4	-25
2024年10～12月期	0	-36	0	-33
2025年1～3月期	0	-25	-13	-29
2025年4～6月期	4	-33	10	-12

[2023年4～6月期] から [2025年4～6月期]



今期直面している経営上の問題点

	1 位 (%)		2 位 (%)		3 位 (%)		4 位 (%)		5 位 (%)	
建設業	民間需要の 停滞 16.2		材料価格の 上昇 14.7		従業員の確保難 13.2		人件費の増加 13.2		熟練技術者の 確保難 11.8	
前期	5 位	7.8	1 位	23.5	2 位	13.7	3 位	13.7	4 位	7.8
前年同期	3 位	14.3	1 位	24.5	2 位	18.4	4 位	12.2	9 位	0.4
商業・サービス業	材料等仕入単価 の上昇 16.3		人件費の増加 13.6		消費者ニーズの 変化への対応 11.6		需要の停滞 10.2		従業員の確保難 8.8	
前期	1 位	21.2	2 位	10.3	4 位	8.9	7 位	6.2	5 位	8.2
前年同期	1 位	16.3	4 位	10.0	3 位	11.3	5 位	9.4	2 位	12.5
機械金属製造業	従業員の確保難 17.3		需要の停滞 13.3		原材料価格の 上昇 12.0		人件費の増加 12.0		製品単価の低下 ・上昇難 12.0	
前期	4 位	11.4	3 位	14.3	1 位	18.6	2 位	17.1	5 位	10.0
前年同期	3 位	13.8	2 位	13.8	1 位	18.8	5 位	12.5	4 位	12.5
繊維工業製造業	需要の停滞 16.0		生産設備の不足 ・老朽化 12.0		原材料費・人件費 以外の経費の増加 12.0		製品ニーズの 変化への対応 12.0		原材料価格の 上昇 10.7	
前期	2 位	16.9	3 位	12.7	5 位	9.9	6 位	8.5	1 位	22.5
前年同期	2 位	12.0	5 位	9.3	9 位	4.0	6 位	8.0	1 位	24.0

事業所からのコメント（直面している問題点など）

〔建設業〕

- 今期4, 5月材料費が上昇。長期の見積・積算が出来ない。又、従業員の確保がますます困難になっている。
- 幹部社員の高齢化による退職。若手社員の獲得難。
- 取引物件の引合いが昨年と比べて純化している。

〔商業・サービス業〕

- 物価高により消費は冷えきっている。消費者の賃金が上がらない。
- 物価高による消費者の買い控えで売上減少している。
- テレビからの取材があった。店舗となりの駐車場用地を確保出来た。
- 店舗少なく、人出減少、物価高騰で仕入れも厳しい。
- 高齢化
- 仕事で桐生に来る人が少ない。
- 物価高の対応策に費やす時間確保が大変。
- 先の見ない商売です。
- 家族葬が中心の葬儀会館が増え、又、人口減少に歯止めがかからないなか、難しい営業をいられている。資金繰りのにも厳しい状況である。
- 仕入れ品の値上り、エネルギーコストの上昇が経営を圧迫している。

〔機械金属関連業〕

- 需要の減少、上昇難。加工単価の上昇難。
- 親会社の米国販売への依存度が高いため、トランプ関税の影響を受けやすく、子会社である当社としては先を見通せない状況にある。
- 米国関税（トランプ関税）が発動されているが、実効税率により収益性が大いに左右される。また、それを発端とする経済低迷による需要減少が懸念事項である。

〔繊維工業〕

- 事業の次世代がいらない。
- もうこのままでいいのか！！まず熟練技術者がいなくなった。その為製品ニーズの変化に対応する技（わざ）が無い。その上原材料が薄くなり不足。ものが出来ない状態に入った。高額商品は買わない環境に入ってきたのでセレクトショップでの販売環境をどう始めるか？問題です。
- 製品までの期間が長く、困っている。